

第79回 全国非常通信訓練の実施結果

1 訓練の目的

本訓練は、災害想定の下で実践的な訓練を行うことにより、平常時使用している通信手段が使用できない状況下における非常通信ルートの検証を行うと同時に、関係機関との連携を図り、訓練参加者の非常通信に関する認識の向上及び実効性を図る。

(1) 内閣府と都道府県間の訓練

平成26年7月発行の冊子「非常通信事務必携」において、非常通信計画に定められた内閣府（消防庁経由）と都道府県間の通信ルート（以下「中央通信ルート」という。）の検証。

(2) 都道府県と被災想定市区町村間の訓練

ア 非常通信事務必携に記載されている「地方通信ルート策定のための指針」に基づく、都道府県と市区町村間の通信ルート（以下「地方通信ルート」という。）の策定又は検証。

イ 大規模災害により全ての地方通信ルートが破損等のために使用不可である状況下を想定した、非常通信の確保の方法の検討。

ウ 複数の市区町村が訓練に連携参加することによる市区町村同士間の通信ルートの検討。

(3) 被災想定市区町村と避難場所等（地域防災計画で指定されている避難場所等）の間の訓練

必要に応じて、市町村防災行政無線や当該市区町村内に存在する自営系無線を活用した、被災想定市区町村役場と避難場所等の間における通信ルートの策定又は検証。

(4) 大規模災害等を踏まえた訓練

平時での想定を超える広域・大規模災害への対応力向上等に向け、非常用電源の確保や広域・大規模災害に対応できる通信ルートの柔軟な多ルート化等を可能な限り訓練内容に取り込む。また、衛星携帯電話や衛星回線等の災害に強い一定の通信ルートの確保を図り非常通信に活用すること。なお、訓練の被害想定は昨今の災害を踏まえ策定すること。

2 実施日時

平成28年11月21日(月) 9時00分～

3 参加機関(地方通信ルート関係：11機関)

北海道（本庁 宗谷総合振興局）、稚内市、猿払村、浜頓別町、中頓別町、枝幸町、豊富町、礼文町、利尻町、利尻富士町、幌延町

4 災害想定

平成28年11月21日(月)09時00分頃、北海道北東沖を震源とする地震が発生し、宗谷総合振興局管内で震度5強を観測した。また、沿岸に津波警報が出され、多数の住民及び観光客が市町村内の高台に避難した

5 訓練の条件

(1) 電気通信事業者が提供する通信設備は、輻輳等のため使用不可能。ただし、衛星携帯電話、自営系無線（市町村防災行政無線、消防無線等）は使用可能とする。

(2) 被災想定市町村にある北海道防災行政無線（北海道総合行政情報ネットワークの地上系回線）は、破損等のため使用不可能。

- (3) その他、通常の通信ルートは、通信の途絶又は輻輳の発生のため使用不可能。あるいは、地方通信ルート全て破損等のため使用不可。
- (4) (1)～(3)を考慮し、訓練参加機関において、非常通信必携に定める非常通信ルート、又は、想定した非常通信ルートが使えない場合においては地域の実情に応じた臨時のルート（国等の公的機関の通信網の利用、電気通信事業者からの衛星電話の貸与等）を選択して実施する。

6 訓練の実施ルート（方法）

別紙のとおり

7 訓練報告関係

(1) 訓練結果の総評

当初の訓練計画どおりに、訓練を実施することができた。

ただし、一部の自治体において通信エラーが発生して、FAX用紙を数回送信することになった。（通信の一部輻輳が発生したと思われる。）

(2) 問題点及び課題並びにその改善方策

ア 通信機器の扱いについて

事前に通信機器の使用方法を習熟する機会を設けたので、訓練本番ではスムーズに訓練を実施することができた。

イ 通信ルートの利用について

非常通信ルートを実際に使用したことにより、実使用の検証ができて良かったという意見が複数あった。

（自治体の担当者は、実際に使用してみないと「非常通信ルート」を実感として理解しづらい傾向がある。）

ウ 通報する際のやりとりについて

稚内市及び豊富町で、FAX用紙の送信のときにエラーが出て数回程度の送信を繰り返すことになった。

エ 通報にかかる時間について

- ・訓練前の想定・・・180分
- ・実際にかかった時間・・・155分

オ 大規模災害などを踏まえた訓練内容であったか

北海道東方沖、震度7の地震が発生し、さらに津波が到達するという想定で訓練を実施したので、大規模災害を踏まえた訓練となった。

カ 通信ルートの有効性について

実際の訓練で利用した通信ルートが有効であるという意見が多くあった。

キ 地域防災計画や通信ルートの変更に関する検討について

今のところ、すぐに通信ルートの見直しを行うという意見は無かったが、自治体からは、現在の通信ルートを見直しつつ、他に有効なルートがないか模索したいという意見があった。

(3) 策定した地方通信ルートの検証

ア 訓練で実施した地方通信ルートの有効性

各参加機関において、使用する地方通信ルートを選択したが、有効性が疑われる地方通信ルートはなかった。

また、現在の通信ルートを見直しつつ、他に有効なルートがないか模索したいという意見があった。

イ 地域防災計画及び地方通信ルートの検証

「地域防災計画では具体的な通信ルートを定めていなかったもので、今年度の改正で対応する。」との報告が寄せられた。

- (4) 複数市区町村の訓練参加（実施状況及びその結果）
北海道宗谷総合振興局管内の市町村が参加した。（１０市町村）
- (5) その他（訓練への提案・意見等）
本訓練の実施により、日頃から使い慣れていない非常用の衛星通信機器を使用できて、貴重な体験ができたという意見が多数あった。
また、通信訓練は定期的に実施していただきたいという意見もあった。

以 上